

各 位

平成 24 年 3 月 1 日
株式会社ワールドインテック
(コード番号：2429)
代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉
福岡県北九州市小倉北区馬借 1 丁目 3 番 9 号
問合せ先：経営マネジメント本部
取締役執行役員 中野 繁
TEL093-533-0540

株式会社サンシティの事業再生支援に関する事業譲渡契約締結のお知らせ (開示事項の経過)

当社は、株式会社サンシティ（以下、サンシティという）と同社の事業再生を目的とするスポンサー基本合意書を平成24年1月30日付で締結し、事業譲渡に関する協議を進めてまいりました。仙台地方裁判所から当該事業譲渡に関する許可が下付されましたことを受け、本日、臨時取締役会を開催し事業譲渡契約を交わすことを決定、締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 事業譲渡契約締結の理由

当社グループは、人材教育ビジネス、情報通信ビジネス、不動産ビジネスの3つをコア事業として事業展開を行っております。不動産ビジネスに関しては、当社代表者の創業事業であり、強固なバックボーンとノウハウの蓄積を有しております。不動産事業展開において最大の付加価値を生み出せる土壌があることから、2010年4月に株式会社ワールドレジデンシャルを設立し、首都圏においてマンション分譲事業を展開しております。

一方、宮城県仙台市に本拠を置く不動産業のサンシティは、東北6県を中心に分譲マンションの開発・販売を手掛けるほか不動産流動化事業にも進出し、2004年に東証2部へ上場を果たすと、2006年には同1部指定を受けるなど業績は順調に推移しておりました。その後、サブプライムローン問題、リーマンショック等による景気低迷に端を発した不動産市況の悪化により保有不動産の価値が大幅に落ち込んだことに伴い、業績並びに資金繰りが急速に悪化いたしました。かかる状況を受けサンシティは、取引金融機関の協力も得て、事業規模の縮小や希望退職者の募集などによるリストラ策を実施して参りましたが、多額の有利子負債により資金繰りが逼迫していることから、自力での再建が困難となったため、平成23年9月26日、仙台地方裁判所に民事再生法の適用を申請し、平成23年10月12日に同手続開始の決定が下されております。

東北エリアにおいて唯一の上場専門デベロッパーとして豊富な分譲マンションの開発・供給実績を持つサンシティと、同事業での地域的な補完関係や営業基盤及び人的資産を相互に活用することが当社グループにとっても事業の強化に繋がるとともに、震災後の東北エリアにおける住宅供給という社会的使命を果たすべくサンシティの事業再生を図ることで地域に貢献していくことを目指し、事業譲渡契約の締結に至りました。

2. 事業譲渡の対象となる事業

- (1) サンシティの仙台本社が営む分譲マンション開発事業、販売代理事業及び販売業務受託事業、賃貸管理事業及びサブリース事業
- (2) サンシティの東京支社が営む販売代理事業及び販売業務受託事業

3. 株式会社サンシティの概要

- (1)商号 株式会社サンシティ
(2)代表者 代表取締役社長 米川 淳
(3)所在地 宮城県仙台市青葉区一番町四丁目6番1号
(商業登記簿上の本店所在地：東京都中央区八丁堀一丁目5番1号)
(4)設立年月日 平成4年2月5日
(5)主な事業の内容 不動産の売買・代理・賃貸・仲介・管理、等
(6)決算期 12月31日
(7)従業員数 69名（平成23年12月31日現在）
(8)資本金 7,510 百万円
(9)発行済株式総数 537,964株
(10)最近事業年度における業績の動向

連結	第17期 平成20年12月	第18期 平成21年12月	第19期 平成22年12月
売上高	33,803百万円	19,964百万円	15,164百万円
経常利益（損失）	△2,275百万円	△5,990百万円	△2,064百万円
当期純利益（損失）	△13,638百万円	△6,443百万円	△176百万円
純資産額	6,953百万円	519百万円	346百万円
総資産額	59,121百万円	40,499百万円	24,832百万円
一株当たり純資産額	13,604.49円	1,015.69円	678.20円

(注) 上記数値は、単位未満を切り捨てております。

記載の業績動向は、民事再生手続開始前の経営成績です。

今後の民事再生手続の中で資産・負債の再評価等が行われ、総資産・純資産の金額が変更される予定であり、現時点では再生手続終結時の総資産・純資産は不明です。

4. 日程

- 2012年 1月 30日 スポンサー基本合意書締結
2012年 3月 1日 事業譲渡契約締結
2012年 3月 月上旬（予定） 事業譲渡契約に基づく事業譲渡クロージング
(サンシティの再生計画案の決議等の日程に関しましては、現時点では未定です。)

5. 今後の見通し

本件により、中期的にはシナジー効果が期待できることから、当社グループにおける業績の向上に寄与するものと考えておりますが、マンションデベロッパーの業態から勘案すると今期（平成24年12月期）連結業績見通しに与える影響は軽微なものを見込まれます。今後、連結業績に重大な影響が見込まれる場合には別途公表いたします。

6. 本件に関するお問い合わせ先

〒103-0022
東京都中央区日本橋室町3-1-8 日本橋都ビル4階
株式会社ワールドレジデンシャル 高井、高橋
TEL : 03-3276-3321 FAX : 03-3276-3399

以上